

二〇二〇年度 B日程 国語 問題用紙(I)

一、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

問一 ――― a gの部分<sup>ア</sup>を漢字に直しなさい(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。(田中修『植物はすごい』 生き残りをかけたしくみと工夫)

問二 (A) (B) (C) (D) (E)に入る最も適当なことを次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

ア また イ しかし ウ つまり エ いっぱう オ ですから カ なせなら

問三 ――― 1、クリとカキの「渋み」について、共通点と相違点<sup>ちがい</sup>を、できるだけ文中のことは使って答えなさい。

問四 ――― 2、実際にはどうなっているのですか。解答用紙の字数に合わせて文中から適語をそれぞれぬき出して答えなさい。

二〇二〇年度 B日程 国語 問題用紙(Ⅱ)

問五—— A、B、Cの「甘さ」「甘み」「甘く」はそれぞれ似たことばですが、ことばの働きが一つだけ異なります。異なるものを記号で答えなさい。

問六—— 3、カキの実のど<sup>う</sup>という点を指して、「<sup>う</sup>巧妙な<sup>う</sup>す<sup>い</sup>い<sup>い</sup>しくみ」と言っているのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問七—— 4、「平核無」の欠点は何ですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問八—— 5、この理由をできるだけ文中のことばを使って答えなさい(簡条書<sup>かじょうが</sup>きでもよい)。

二、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

(瀬川晶司『泣き虫しよったんの奇跡』)

注1 セガシヨール…ぼく(瀬川晶司)のあだ名

注2 「ひろば」…荏間澤先生が発行していた保護者向け学級通信のタイトル

問一 — a～hの部分を漢字に直しなさい(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。

問二 (A)～(F)に入る最も適当なことは次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

ア もう イ いつか ウ とても エ けっして オ しばらく カ とにかく

問三 — 1、ぼくはこれまで自分自身をどのような存在であると自覚していましたか。文中から三十九字ぬき出して答えなさい。

問四 — 2、「あれ」は具体的にどんなことを指していますか。

問五 — 3、母のことは使われている「!」の記号は、母のどのような様子を表していますか。文中からぬき出して答えなさい。

問六 — 4、この作文が上手に書けたのはなぜだとぼくは考えていますか。できるだけ文中のことは使って答えなさい。

問七 — 5、「その」は、母のどこを指していますか。できるだけ文中のことは使って答えなさい。

問八 — 6、「そういう人」とはどういう人のことですか。できるだけ文中のことは使って答えなさい。

問九 — 7、ぼくは先生のこのことは聞いてどう思いましたか。文中から十二字ぬき出して答えなさい。

三、次の( )に最も適当な漢数字を入れて慣用句やことわざを完成させなさい(全てに同じ数字を書いてはいけません)。

① ( ) ( )の足を踏む (ためらって、どうしようかと迷うこと)

② 悪事( ) ( )里を走る (悪い行いはすぐ世間に知れわたること)

③ 人のうわさも( ) ( )日 (世間のうわさも一時のことで、しばらくすると自然に消えてしまうこと)

④ 無くて( ) ( )癖 (癖が無いように見える人でも、多かれ少なかれ癖があるということ)

⑤ ( ) ( )死に一生を得る (ほとんど助からない危険な状態からかろうじて助かること)

⑥ 一寸の虫にも( ) ( )分の魂 (小さく弱いものにもそれなりの意地があるからあなどりがたいということ)

